

2月11日～2月15日

六郷のカマクラが行われます

国指定重要無形民俗文化財

美郷町「六郷のカマクラ」

毎年2月11日から15日にわたって行われる六郷のカマクラは、豊作、安全繁栄を祈る「年ごい」と凶作や不幸を除去する「悪魔祓い」、そしてその年の吉凶を占う「年占い」の三者が一体となった行事です。各地の小正月行事の観光化が進む中、本来の姿を保ち、住民の伝承意識も高いことから昭和57年1月14日に国の重要無形民俗文化財に指定されました。

会場案内マップ



六郷のカマクラ行事

天筆まつり

天筆は緑、黄、赤、白、青(紫)の順に紙を貼り合わせて作り、願い事を書きます。2月11日から15日までの間、各戸や町内施設などに掲揚されます。

鳥追い行事

2月13日頃から「鳥追い小屋」と呼ばれる雪室や雪宮が六郷地区の町内で作られます。15日夜の竹うちの前後に子どもたちはこの中で甘酒を飲んだり、餅を焼いて食べたりして遊びます。

美郷町観光協会では鳥追い小屋と雪宮の出来映えを審査するコンクールを実施します。

コンクール審査日時●2月14日(土) 午前9時30分～

竹うち

六郷地区の町内が南軍と北軍に分かれ、7～8mの青竹で打ち合います。南軍が勝つと米の値が上がり、北軍が勝つと豊作になると言い伝えられています。

日時●2月15日(日) 午後8時～
会場●秋田諏訪宮前カマクラ畑

六郷のカマクラ 関連イベント

天筆書き体験

六 郷のカマクラに関して、行事の運営等を行う「六郷カマクラ保存会」の岩屋朝徳会長にお話を伺いました。

4〜5年前くらいから、六郷のカマクラを安全で誰もが参加できる楽しいお祭りによようと、集まって相談する町民有志のグループができました。この有志の輪が広がり、平成25年12月には六郷高校生を加えて「六郷のカマクラを考える会」が発足しました。考える会では、竹うちの乱闘根絶や全国から集まった天筆の願い事の代書、お土産の開発など、自主的にさまざまな活動を行っています。これは非常にありがたいことだと思っています。このような人々に刺激を受けて、他の町民からもほんの少し「俺だもなんかできることやるべ」という動きが起こり始めました。例えば、今まで天筆を立てなかった町内でも、天筆を立てようというところが出てきました。5色の天筆が町内で掲揚される風景はとても色鮮やかで、地域に活力が注がれるようにも感じられます。

平成26年11月3日の国民文化祭の最終日には、六郷のカマクラが秋田市に出張しました。秋田県内の重要無形民俗

文化財が一堂に会するというイベントで、約800年続く六郷のカマクラの歴史の中で、町外で開催したのは初めてのことでないかと思っています。竹うちも行いました。本来ならば降り積もった雪の上で行うものですが、今回は固いアスファルトの上で危険を承知で行わなければなりません。それにもかかわらず、各町内の方々は快く協力を申し出てくれ、約50名が二手に分かれて全力で打ち合いました。また、六郷高校の生徒たちをはじめとするボランティア40名の方々が、模擬天筆焼きを行いました。環境の違いや低温強風の悪条件の中、打ち手もボランティアの方々も全力でこの事業に取り組んでくれたおかげで、会場で初めて六郷のカマクラを見た観衆にはきれいで迫力のあるものに見えたそうです。

以前は、竹うちの打ち手も片方の軍で200名以上いましたが、今では両軍合わせて100名ほどです。時代が変わったのだから、昔のとおりにはできないかもしれない。だからこそ、今できる形に変えながら伝統を守っていかなくてはと思っています。大事なことは「失敗することを恐れないで何でもやってみる」とです。先の町外開催にしても、最初はできないのではないかと心配もありましたが、無事に成功することができました。竹うちの参加方法についても、考える会の皆さんが提案してくれたルールを採用しながら、毎年試行錯誤しながら行っています。失敗したらまた方法を変えればよいのです。若い方々が行事を、町を良くしようという一生涯命考えてくれるのですから、「まずはやってみる」という姿勢です。

意義さえ失わなければ、形が少し変わっても人間の心を育てるのが民俗行事だと思っています。そして、六郷のカマクラは美郷町で唯一の国指定重要無形民俗文化財です。これからもその意義を伝えていきたいというのが私の願いです。



■岩屋朝徳会長

六郷のカマクラ Topics

六郷のカマクラがNPO法人日本の祭りネットワークに加盟しました。同ネットワークでは、趣旨に賛同する全国のお祭りと連携して、ユネスコの無形文化遺産への登録を目指した活動を行っています。六郷カマクラ保存会では、行事のさらなるPRにつなげようと、平成26年11月に加盟しました。

問●六郷カマクラ保存会(美郷町学友館内) ☎0187(84)4040

願い事を天筆に託してみませんか。どなたでも参加できますので、お気軽にご来場ください。

期間●①2月11日(水)〜14日(土)
午前9時〜午後5時

②2月15日(日)
午前11時〜午後4時

会場●①観光情報センター

②名水市場湧太郎 國之響ホール

料金●1組200円

餅つき・甘酒

つぎたてのお餅や甘酒を振る舞います。

日時●2月15日(日) 午後3時〜

会場●名水市場湧太郎 広場

鳥追い小屋体験

「六郷のカマクラを考える会」の皆さんによるおもてなし

期間●2月11日(水)〜15日(日)

時間●午前10時30分〜午後4時

会場●名水市場湧太郎南駐車場の鳥追い小屋

内容●わらべうた、甘酒の振る舞い、写真撮影、竹うち体験、天筆関連グッズの土産販売

昔語り

「美郷民話の会」の皆さんによる昔語り

期日●2月15日(日)

時間●①午後1時30分〜午後3時

②午後6時〜午後7時

会場●①名水市場湧太郎南駐車場の鳥追い小屋

②観光案内休憩所「清水の館」